

関西聚 活動報告書

(活動名： 2016年環境フェスタ in 交野 活動日：2016.3.13 (日))

リーダー名：大阪事務局	報告者：大川 英登
参加者：スタッフ：伊東、大川、東川、山本の4人	
場所：星の里いわふね	
3月13日(日)の活動内容 8:30~16:00	
1. 聚活動のパネル展示 (森F活動、南星台F活動、花の写真)	
2. 広報活動 (交野市フィールドの活動案内、関西地区フィールド案内、GSセミナーの案内)	
3. PCを使っての花のスライドショー	
4. PCとファイバースコープを使ってのセミの卵の観察とセミの一生についての説明	
5. ハガキの木(タラヨウ)についての説明と手書き体験	

活動報告・次回案内・感想など

一区画に聚のブースを頂き、前日にパネルの運び込みと展示を終え、当日PC、USB、顕微鏡を持ち込んで準備を整えました。9:30より開場。

初めばらばらでしたが、天気も良く足の運びがよくなり入場者数は3000人を越えました。聚のブースにも100名以上の多くの参加者が訪れました。用紙した3種類合計300部のチラシを配布することが出来ました。その内何人かは活動に参加したい旨の話を頂きました。期待したいところです。

顕微鏡でセミの卵を見てもらい、セミの一生について説明を加えました。ほとんどの方が初めて見ましたという返事と、セミは卵を地中に産むという人が殆んどでした。木の枝、しかも枯れ枝にしか産まないという理由を説明をすると皆さん納得されました。

またファイバースコープで拡大して見ることによりその形、特徴を理解して頂いたようです。聚の活動に多くの方がご理解は頂きました、聚以外にも活動されている団体が多く、聚の活動に参加して自分もやってみたいという人は残念ながら少ない方です。

毎年案内しておりますが中々参加者が増えないのが現状です。

スライドショーで花を、顕微鏡とファイバースコープを使ってセミの卵を見てもらい、活動写真パネルを見てもらい、もう少し勉強しませんかとGSセミナーのチラシを配布しましたがこちらも反応はいま一つでした。

タラヨウの字が書けるという点について一部の方は知っておられました。お孫さんへのメッセージ用、両親へのメッセージ用、祖父母へのメッセージ用にと使い方を説明してお土産に持って帰ってもらいました。実際に郵便で出せますようと案内すると殆んどの方が驚かれていました。

今年で11回目を迎えた環境フェスタですが3000人を超える入場者があり、環境についての関心も高まっていると感じました。

聚への参加者の増大を大いに希望したいところです。

今回は写真の添付はありません。